

●平成17年度（2005年度）

山村境界保全事業を実施

山ノ内支所では、国土交通省のモデル事業で、山林のおおむねの境界を保全することを目的とした、山村境界保全事業を実施しました。

この事業は、全国6ヶ所で行われ、山ノ内町では、佐野、寒沢地区の一部329haの調査を実施しました。

測量方法は、DGPS（衛星からの補正波）により基準点を設け、基準点からデジタルコンパスで計測を行うもので、調査点を座標値でデータ管理できるため、復元性が高く、以後の森林整備にも活用できます。

この事業がきっかけとなり、その後、森林境界明確化事業を行うこととなりました。



カツラマルカイガラムシ被害拡大



飯山市から木島平村にかけての千曲川流域において、カツラマルカイガラムシによる落葉広葉樹林の樹木枯れ被害が発生しました。

長野県の実施する、スプラサイド乳剤等の薬剤散布試験に協力し、被害拡大の防止に努めました。

主な出来事

長野県ふるさとの森林づくり賞受賞



森林づくりの部

中野市 間山区 県知事賞

中野市 渡辺則雄氏

県林業経営者協会会長賞

森林づくり推進の部

山ノ内町 堀米憲一郎氏

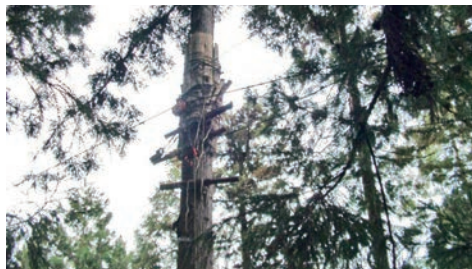
県猟友会会長賞



- 4月 総代会21名の新役員選任
- 4月 総代・参与役員・連絡員選任
- 4月 飯山支所新町庁舎に移転
- 4月 デジタルコンパス講習会
- 5月 森昭和組合長就任
- 5月 北信州植樹祭（山ノ内町）

北信州森林組合

角間墓地倒木処理



20年ぶりの大雪で、多くの雪折れ被害が発生しました。

山ノ内町佐野角間の墓地でも雪による倒木被害があり、当組合で撤去作業を行いました。



スカイラインを用いた本格的な林業架線による撤去作業を行いました。大変難しい作業になりましたが、墓石を傷つけることもなく、無事に終わることができました。

高規格作業道（林業専用道路）開設

飯山市瑞穂関沢の山林にて、森林づくり交付金事業を用いて、高規格作業道を開設しました。

入札により土木業者を選定し、926 mの作業道を開設しました。これにより、高性能林業機械による間伐が可能になり、トラックによる木材の搬出も円滑に行えるようになりました。U字溝を敷設し、雨水を逃がし作業道の荒れを防ぎました。



主な出来事

- 1月 森林づくりの功績を表彰する制度を創設
- 6月 森林づくり指針、信州の森林づくりアクションプランの策定
- 6月 森林組合法改正
- 5月 ふるさとの森づくり県民の集い（第56回長野県植樹祭）（川上村）
- 4月 長野県初、木質バイオマスを利用した発電開始

■森林・林業関係

- 4月 中野市と豊田村が合併して、新「中野市」誕生
- 4月 青木一中野市長、初当選（新市）
- 4月 高速道信州中野IC〜豊田飯山IC4車線完成

■地域

- 3月 野球の第1回WBCで日本優勝
- 2月 荒川静香、トリノ五輪で金メダル、イナバウアー
- 11月 紀宮さまご結婚

■国内

- 6月 クールビズ開始
- 9月 衆院選で自民圧勝、郵政民営化法成立